

介護職員募集

問い合わせ

社会福祉法人 さくま
さくまの里
TEL: 053-965-1855
担当: 運営サービス課 岩見

お気軽に
お問い合わせ
ください。



さくまの里だより
2016年度 秋号

ほほえみ

施設理念『私たちは、利用される一人ひとりと手をつなぎ、心をあわせ、だれもが自分らしさを大切にできることを原点とします。』

健康コラム

旬の魚: サバ

秋が旬の魚にはサンマ、サバ、カレイ、ハゼ等があります。今回はサバについてご紹介しましょう。「サバを読む」という言葉がありますが、傷みやすく数も多いサバを数えるときに早口で数えられ、実際の数と合わないことが多かった。そこから、いい加減に数を数えることをサバを読むと言うようになったそうです。鮮度が落ちたサバには、アレルギーの原因となるヒスタミンが作られてしまいます。

購入する時は鮮度に気を付け、背中が青く模様がくっきりとしているもの、身が硬く張りがあるもの、目が澄んでいてるもの、エラが鮮やかな物を選びましょう。

栄養管理士 升本

社会福祉法人 さくま「さくまの里」

- 特別養護老人ホーム
- デイサービスセンター
- グループホーム
- 高齢者生活福祉センター
- ホームヘルプサービスセンター
- 訪問入浴介護室
- 在宅介護支援センター
- 居宅介護支援事業所
- 小規模多機能型居宅介護
- いもほりの家
- 保育ママ事業 ぼこぼこ

〒431-3908
静岡県浜松市天竜区佐久間町中部18-15
TEL: 053-965-1855
発行責任者 岩見 桂浩

編集後記

秋です！
秋と言えば読書の秋、芸術の秋、いろいろありますが皆さんは何を思い浮かべますか？
私はやっぱり食欲の秋です。秋は秋刀魚や栗など美味しい物がたくさんあるので、つつい食べ過ぎてしまいますよね♡
健康のことも考えつつ秋を満喫できたらいいですね♪

ご寄付・ボランティア ありがとうございました。

(7月~9月) (順不同・敬称略)

- [ご寄付]
- 山西 博子
 - 和田 史恵
 - 大下 今朝一
 - 遠州中央農協 浦川店
 - 森下 智夫
 - 匿名
- [ボランティア]
- 山口英文
 - 山ぼうしの会
 - 日赤奉仕団
 - 民生委員
 - 城西民謡クラブ
 - 松浦 富美



和気あいあいと、カルタ取り。何枚とれたでしょうか。取れた数より、笑って楽しく過ごせる事が、心や身体の良薬です。

佐久間地区 敬老会

9月9日に佐久間小学校で行われた敬老会に参加してきました。

お二人がとてもいい笑顔を見せてくれました！！

これからもお元気でお過ごしてください。



祝★米寿



特養敬老会

少し早めの敬老会を、入居家族会のご協力を頂き9/10(土)に当施設にて入居全体で行いました。施設長より白寿や米寿など節目の方々の方々の表彰がありました。慰問の方に、民謡・銭太鼓などを披露して頂き、ご利用者のご家族も来てくださり、一緒に楽しい時間を過ごせました。これからも、楽しい思い出をいっぱい作りましょうね☆



夕涼み会

8月12日の夕涼み会は天候も崩れることなく、多くのボランティアの方々のおかげで無事に終えることが出来ました。ご利用者のご家族も参加され、かけがえの無い時間となった事と幸いです。

地域の方々も大勢来て下さり、催し物の飛龍太鼓は皆様にとっても好評でした。

夕涼み会を楽しみにして下さっている皆様のためにも次年度も楽しい催し物を準備し、お待ちしております。来年に乞うご期待！！



「出会い」



入居サービス課 主任 金田 有加

さわやかな季節となりました。夏の空、入道雲を眺めるのも好きですが、澄んだ青空、様々に変化する雲を眺める秋の空も好きです。過ぎしやすさはありますが、朝夕の冷え込みもありますので、体調には気をつけたいものです。

あるご利用者との出会い

私は、専門学校を卒業し、この介護の仕事を始め20年以上経ちます。病院、老人保健施設、そして現在さくまの里(特別養護老人ホーム)でお仕事させて頂いています。仕事を始めしばらくした頃のことです。オープンしたばかりの施設で、1人のご利用者に対し2人のケアワーカーで、夜勤対応をするという事がありました。今でもその時の事で、思うような関わりがその方できず、辛い思い、恥ずかしい思いをさせてしまったのは・・・と自分の関わり方について、考えさせられている事があります。その方に対して早め気づき、声を掛ける事ができたら、こう関わる事ができていたら良かったのでは・・・という思いが強く残り、今でもことあるごとに思い出されます。

たった1人のご利用者の事を思い、考え、そして流れ出てしまった涙も忘れられません。そしてその方との「出会い」が、今の私の介護の原点になっています。

自分の成長に繋がっているもの

現在は2ユニット20名のご利用者、12名のスタッフと共に充実した日々を送っています。さくまの里の理念でもありますが、「自分らしく」その人らしくを大切に、『暮らしの継続』のお手伝いできればと思いい日々活動しています。

「その人らしい暮らしの継続」のお手伝いは、とても難しいです。しかし、ご利用者、そのご家族など皆さまの協力を得ながら、その人らしく1日1日を過ごして頂けるよう、取り組んでまいりたいと思っています。そして、毎日多くの方との出会いがあります。今の私の介護感を作りあげてくれた方との「出会い」又、ご利用者・ご家族など様々な方との出会い、その経験が少しずつではありますが、自分の成長にも繋がっていると感じます。これからも続くであろうたくさんの方との「出会い」を大切に、この「福祉」の仕事に励んでいきたいと思っています。



知りたい!!介護保険の事②

今回は、ショートステイの利用についてお話しします。
施設に短期間入所して、入浴や排泄、食事などの日常生活上の支援や機能訓練などが受けられます。



自宅に引きこもりがちになった

家族の介護負担

孤立感の解消

心身機能の維持回復

介護者の疾病・冠婚葬祭・出張

まずは、ケアマネージャーに相談下さい



居宅介護支援事業所 さくまの里 ☎ 965-1858



数年ぶりの3ショット

ショートステイでは、家庭の延長であると考え、体操やレクリエーションを行っていますが、参加は自由とし居室や別のフロアでゆっくりされている方もいます。

佐久間に唯一の施設の為、同級生や親戚、兄弟との出会いが待っているかもしれませんよ。



学生さんとの交流



五平餅やたこ焼きも作りました

さくまの里での取り組み紹介

介護の質、職員の質を向上する為勉強会を開催しています。今回は…
看護課主催『姿勢づくりを見直そう ～背ぬきでリラックス～』

普段何気なく、寝ている姿勢。身体が不自由なく動かせる私たちはさりげなく、寝やすいポジションに身体を動かしています。思う様に動かせない寝たきりのご利用者の体験をし、布団と身体がなじむ姿勢の作り方を学びました。



ご利用者紹介コーナー

今回は、1号館に入所されている
峰山千代様にインタビューをしました!

Q さくまの里の生活で楽しみはありますか?

A 近くの席の人とたくさんしゃべるのが楽しいよ。
その時々で思いついたことをしゃべっているよ、
あと、みんなで歌を歌ったりもしているよ。ご飯
はおいしいし、満足しているよ。



Q 昔は何をしていましたか?

A 蚕飼いをやったり、百姓をししたり、野菜はさつま
芋から、白菜等何でも作ったよ。

Q 元気な秘訣を教えてください。

A 元気の秘訣じゃないけど、暇つぶしに日記を書いたり、本を読んだりしているよ。

ありがとうございました!
これからも元気で過ごしてくださいね!(^^)!

保育ママ事業 ぽこぽこ

9月20日(火)に敬老の日のプレゼントを渡しにさくまの里まで行ってきました。各部署を回りながら、ご利用者の方々に「おじいちゃん、おばあちゃん元気だね!」と言いながら子どもたちが作ったメッセージカードを渡しました。ご利用者の方々も「ありがとうね!」と、とても喜ばれていました。いつまでもお元気でいてくださいね。

